

平成 27 年 10 月 30 日  
みみょう保育園

秋の穏やかな日差しの中、子どもたちはそれぞれ思いおもいに園生活を楽しんでいます。0歳児クラスの子どもたちはずいぶん歩けるようになり、保育室でも園庭でも、興味のあるものに、かわいい足どりで向かっています。1歳児クラスの子どもたちもますます元気いっぱい、しっかり体を動かして遊んでいます。ちょっぴり自我も強くなってきて、おもちゃもたくさん独り占めしたかったり、お友だちの持っている物が欲しくてだだをこねたり。これも大切な成長の過程だと受け止め、丁寧に対応しているところです。2歳児クラスの子どもたちは、いろんなことにチャレンジ中で、排泄の自立、手洗い、パジャマの脱ぎ着などちょっとずつできることが増え、ますます張り切っています。

先日、0歳児クラスのお子さんが午睡後に、2階多目的室において木製の玩具で遊んでいたところ、その玩具を置いて歩こうとして、その玩具につまづき、そばにあった園児机に左まぶたをぶつけて縫合するという怪我が起こりました。

すぐに当園の看護師に見てもらい、保護者の方に連絡を取り、形成外科での処置をさせていただきました。また通院等も責任をもっていたします。保育士がすぐそばについて、一緒に遊んでいたのに防ぐことができず、お子さんには痛い思いをさせたこと、保護者の方に多大なご心配をおかけしたことを、申し訳なく思っております。

園での怪我についての方針をお話しさせていただきましたと、先にも述べましたように、子どもは成長していくにつれ、周りの

物にとっても興味を示すようになります。そして発達とともに自分の身体がどのくらい動くのか試したり、挑戦してゆくのです。

1歳児の子どもは歩くのがうれしくて、親の方を振り向きもせずに、まっしぐらに歩いたり小走りをする姿をよく見かけます。そのくらい子どもたちは、生まれながらにして意欲満々に動くのです。園では子どもたちの育ちと、その先の生きる力を見据えて今の乳児期をととても大切に考え、毎日のびのびと遊ばせていきたいと思っています。そのあそびの中で、時にお友だちと物や場所の取り合いになったり、転んだり、ぶつかったりすることも起きてきます。このような経験を積むことで、お友だちに優しくすることの大切さ、お友だちと遊ぶことの楽しさ、転ばない身のこなし方、玩具の使い方などを覚えてゆくのだと思います。

怪我で痛い思いをさせてしまうことはつらいことではありますが、だからと言って子どもの動きをダメダメと静止ばかりしたり、遊ぶ場所を制限したのでは子どもの育ちを伸ばすことは難しいのではないかと考えています。

園では、これからも子どもたちが楽しくのびのびと過ごし、その時でしかできない様ざまなあそびができるようにしていきたいと思っています。

園児が遊ぶ場所については、周りにあるものが危なくないか、再度見直し、職員間で確認し合い、目を離さないように気を付けてまいります。必ずしも怪我は防げない場合があるということもご理解いただきますようお願いいたします。